

木島平村民のみなさんへ

# コミュニティ・スクールだより

第 1 号

平成24年10月10日  
発行者 木島平村  
コミュニティ・スクール  
推進委員会

## ☆コミュニティ・スクールってなんですか？

### Q1ーどんな仕組みですか？



コミュニティ・スクールに指定された学校には「学校運営協議会」が設置され、教育委員会から任命された保護者や地域の皆さんが、学校の教育活動に意見を述べたりして、学校の様々な課題の解決に参画できます。文部科学省が、地域とともにある学校づくりを目指して行っている制度です。

## コミュニティ・スクールのイメージ



### Q2ー他の学校とどこが違いますか？

学校運営に当たって、保護者や地域の皆さんの参画が仕組みとして保障されていることが、他の学校との違いです。学校と地域が力を合わせることで、互いに信頼し合い、それぞれの立場で地域の子どもの成長を支えていく学校づくりができるようになります。



### Q3ーなぜ、木島平村で、コミュニティ・スクールを進めるのですか？



平成22年度に、村内の三つの小学校が統合され、木島平小学校が開設されました。それを機に、小中一貫教育のあり方を教育委員会と小中学校の職員で検討し、今年度より推進しています。地域に開かれた学校づくりをすることで、小中学校の学校運営がスムーズにいくと考えたからです。

## Q4ー学校運営協議会の委員には誰でもなれるのですか？

学校運営協議会委員には、保護者と地域の皆さんが含まれる必要があります。その他のメンバーについては、学校や地域の実情を踏まえて、教育委員会で定めることになっています。また、委員の選出方法や具体的な手続きについても、今後教育委員会で決めていきます。



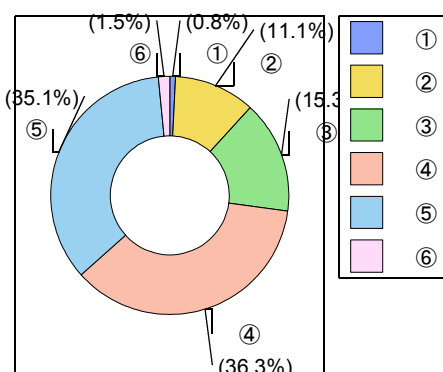
## Q5ーもうコミュニティ・スクールになっているのですか？



平成23年度末に、文部科学省にコミュニティ・スクール研究推進の指定校の申請しました。その結果、今年度と25年度研究推進していくことになりました。今年度は、今までに4回の推進委員会が開かれ、木島平村にふさわしい学校運営協議会にしたらよいか検討し、26年度実施を目指しています。

## Q6ー小中学校の保護者アンケートがありました。どんな結果ですか？

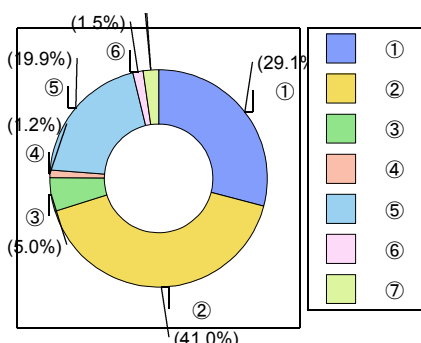
### ①「コミュニティ・スクール運営協議会」(学校運営協議会) 制度について



①	とてもよく知っていた	2
②	知っていた	29
③	名前がきいたことがある程度	40
④	ほとんど知らなかった	95
⑤	まったく知らなかった	92
⑥	無回答	4

● 4分の3のみなさんがまだ、学校運営協議会制度については知らないという結果でした。

### ②学校運営協議会制度で、地域と学校とのつながりが深くなることについて



①	よいこと・積極的に関わりたい	76
②	よいこと・積極的に関われない	107
③	よいこと・積極的に関わりたいくない	13
④	よいことだと思わない	3
⑤	わからない	52
⑥	その他	4
⑦	無回答	6

● 4分の3のみなさんが「よいことだと思う」という結果でした。大方のみなさんが、学校運営協議会制度導入に理解を示されていました。

### 積極的なご意見

○これからの学校教育は地域との連携、協力がなければ成り立たない。そのために保護者もなんらかの形で学校と関わり合いを持つことが子どもと親の成長につながっていく。

○親共働きなので、コミュニティ・スクールで子どもたちを守ってくれることに感謝。都合がつくかぎり、協力したり関わっていききたい。

## ☆小中一貫教育はどうなっているのですか？

### Q7—小中一貫教育は、なんのために進めるのですか？



ふるさと木島平を心に刻み、木島平村を誇りに思う子どもたちを、学校・保護者・地域の皆さんと育てるために、義務教育9年間をみこした、小中学校一貫の教育観に基づいておこなっています。



### Q8—今までの小学校・中学校とどこがちがうのですか？

まず、教育目標を「心と体をひらいて学ぶ子ども（生徒）」としました。次に、三つの視点を決めました。

- 視点1 つける力…「実社会・実生活に生きる力」
- 視点2 経営の基本…「**学びの共同体**を基礎に置く学校づくり」
- 視点3 キーワード…「**発達段階に応じる指導**」「地域との連携」



### Q9—「学びの共同体」とは、どういうことをいうのですか？



子ども、教師も、保護者や地域住民も学び成長する学校のことです。様々な生き方・考え方が尊重され個性が響き合う集団を指します。

- ・子ども一人ひとりの学びを保障し、すべての子どもが授業に参加します。
- ・教師全員が同僚に授業を公開し、授業での事実をもとに研究会をします。
- ・保護者や地域住民にも開かれ、授業に参加できます。

### Q10—「発達段階に応じる指導」とは、どのような仕組みですか？

義務教育の9年間を三期に分けます。それぞれの期の学びの発達に着目して、**協同的な学び**でつなく授業を展開していきます。下の表のような仕組みです。



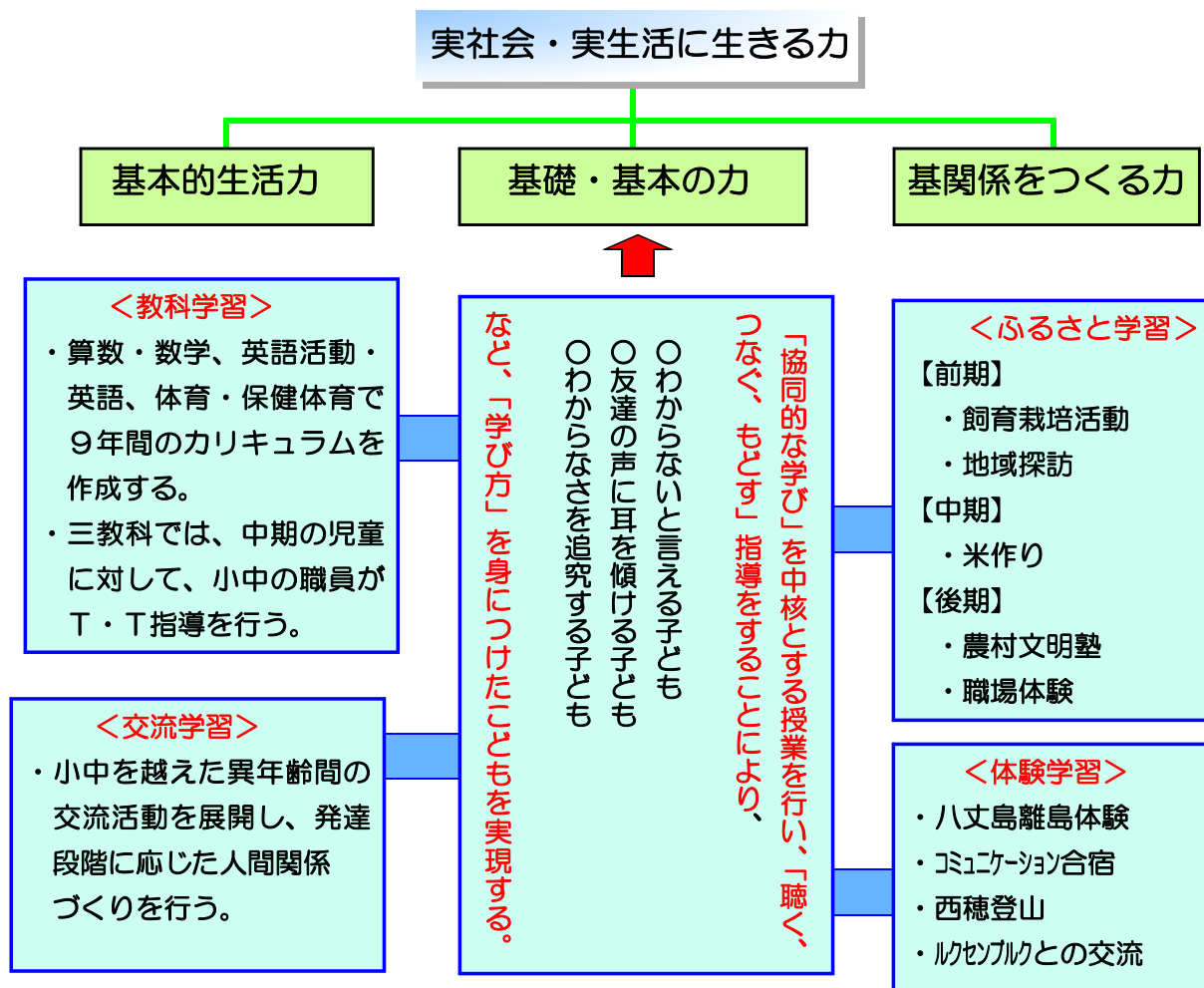
\*協同的な学び… 他者と関わり合うことを通して、新しいものの見方や考え方をしていく活動

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
区分	← 前期 →				← 中期 →			← 後期 →	
課程	【人間としての基礎を培う課程】				【思考力を培う課程】			【自立の基礎を培う課程】	
協同的な学び	◇安心できる環境の中で、愛着ある「もの」と一体になって浸り込む体験的な学び ◇五感を総動員して「もの、ひと、こと」に働きかけていく体験的な学び ◆キーワード…感性、あそび きめ細かな指導				◇友と話したり、自己に問いかけたりしながら、ものごとの根拠を探る学び ◆キーワード…自己内対話 自尊感情の高揚			◇体験を通して発現する意思を見つめながら「志」を明らかにする、自らの生活を拓く学び ◆キーワード…省察 個性化	
指導体制	学級担任制				一部教科担任制			教科担任制	

## Q11ー具体的にはどのような教育活動をしているのですか？



教科学習では、今年度から、中期の児童に対して、算数・数学と体育・保健体育の二教科で、小学校と中学校の先生がチームを組んで指導しています。そのことによって、中学校からの教科担任制や学習内容にもスムーズに対応できるようになります。教育課程の全体像は下の表のようになります。



\*コミュニティ・スクール推進委員会では、今後も「たより」を発信していきます。

### ☆平成24年度 コミュニティ・スクール推進委員名（敬称略）

小国 喜弘：東大准教授	岸 裕司：CSマイスター	芳川 誠	梅寄 伸一
小林 弘	齋藤 定善	祢津 和利	高木 良男
土屋 誠之	山本 國夫	真篠 淳子	池田 剛
関 孝志	塩原 雅由	竹内 昭芳	浦山 秀紀
井原 満明	阿部 弘	丸山 幸一	土屋 博昭
本山 育人			

☆質問やご意見がありましたら、下記事務局までお知らせください。

問い合わせ先（事務局）

〒389-2302 長野県下高井郡木島平村往郷839

木島平中学校 TEL (0269) 82-2032 FAX (0269) 82-2007 本山まで